

環境協定締結事業者による 環境にやさしい取り組み

生物多様性の取り組み



写真提供 キヤノン株式会社



写真提供 キヤノン株式会社

キヤノン株式会社では、生物多様性保全が持続可能な社会にとって欠かせないものであると認識し、「生物多様性方針」に基づいた活動の象徴として「キヤノンバードブランチプロジェクト」を推進しています。

宇都宮事業所では、日本野鳥の会栃木県支部の協力のもと、2019年から敷地内の野鳥調査を始めました。敷地にはさまざまな植物が広がり、草原を好む野鳥が使用する貴重な場所となっています。

脱炭素・循環型社会に向けた取り組み



【製品倉庫の屋根に設置された太陽光パネル】



写真提供 東京製鐵株式会社

写真提供 東京製鐵株式会社

東京製鐵株式会社では、CO₂排出原単位の低減、鉄スクラップの高度利用、エコな電炉鋼材のシェア拡大を通じて2050年の脱炭素・循環型社会の実現に大きく貢献していきます。

宇都宮工場では「エコで愉快だ宇都宮」のかけ声のもと、大型電炉でのH形鋼供給により年間約60万tもの社会のCO₂排出削減に貢献しています。2021年から2MWの屋根置き型メガソーラーの稼働を開始、年間約950tのCO₂排出量を削減、電力は全量自社使用し、再生可能エネルギーの普及、電力の脱炭素化に貢献しています。



私たちは、
宇都宮市環境協定
を締結しています。